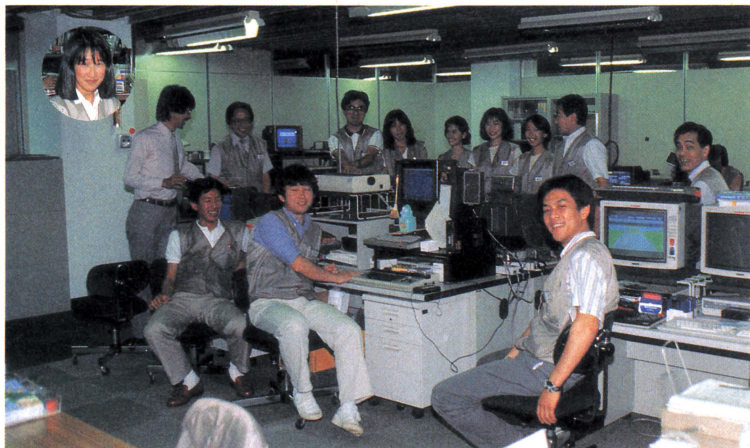


It's a SONYでおなじみのソニーがプログラムオリンピック初参加 ヘルシー登山アクションゲームだ

ウォークマンやディスクマンなんていう、とんでもなく大胆なマシンをつくっちゃうソニーだもの、ソフトだって普通のわけはないのだ。今まで目にしたことのないようなソフトが見たいなら、当分ソニーから目がはなせない。だってあのソニーだもん。



◆おそろいのベストがかっこいいAPS開発室スタッフ。左上の円は遅刻者である。

ウォークマンだけじゃないんだぞ ソニーはソフトもつくってるんだ

そろそろロールプレイングゲームにも飽きてきたし、なんか新しくって面白くてキュートで愛せるゲームがでてこないかなあーと思っている少年少女の皆さま、ソニーに期待しようぜ。「私達はですね、たとえ一部の人にしかうけないものでも、私達が面白いと思うものならどんどんつくってゆきたいんですよ」

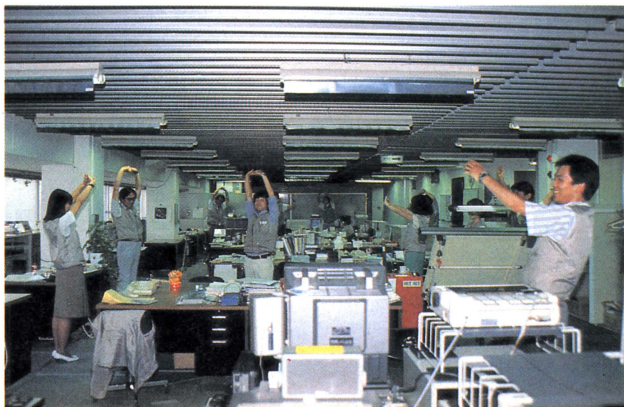
とソニーAPS開発室(ソフトをつくらしている部署)の統括課長高橋重雄氏が語ってくれたように、ソニーは新しいものをつくる気まんまんだ。

開発スタッフは若くて明るい人ばかり。大企業によくいる説教オヤジみたいなのがいないのはもちろんのこと、どこのソフトハウスにも住みついてしまおうオタクプログラマーも姿を見せず、ただただ明るく元気なスタッフだ。特

に、プログラマーの何人かは、ちょっと目をはなすと踊りながら仕事してるような、そのくらい元気なノリのある人達だった。こういう人達なら本当に新しいことができちゃうかもしれないな、とつい思ってしまうパワーだ。

さて、実際にこれからどんな新しいソフトが出てくるかということは、その時までのお楽しみにとっておいて、今までのソニーのソフトについてちょりっとお話ししよう。というのも、あまり知られてないけど他の会社のソフトにはない面白さを持ったソフトがたく

◆ソニーが大企業だという一例、3時休みの体操。もっとと真面目にやりなさい！



さんあるからなんだ。

例えば「ミステリー・ザ・パーティー」。このソフトは日本パソコン界に宴会ソフトという新ジャンルを打ち立てた逸品。無茶苦茶長いアミダクジなどで宴会を強引に盛りあげてしまおうという、画期的なソフトだ。「ミッドナイト・ブラザーズ」は結構有名だけど、これもあり新しかったね。2人同時に遊べるし、与えられたシナシオに飽きたあとも、自分で次の遊び方を考えていけるようなソフトだった。鬼ごっことか、かくれんぼとかね。

まあ、こんな風にソニーは今も昔も新しいことを探索しまくっているんだ。考えてみれば、ウォークマンみたいな、超画期的グッズをつくりだせちゃう会社だから、本気で期待できちゃうね。

**年末はソニーからいっぱい得ぞ
絶対にお金をためておきなさい！**

ソニーの新作はMSX2用パズルゲーム「キネティック・コネクション」だ。言ってみれば、ジグソーパズルみたいなものなんだけど、ちゃんとコンピュータにしかできない味つけがしてあるのがニクイ。なんとと驚いたことに、ひとつひとつのピースの絵が動いているのだ。ということは、元の絵がアニメ

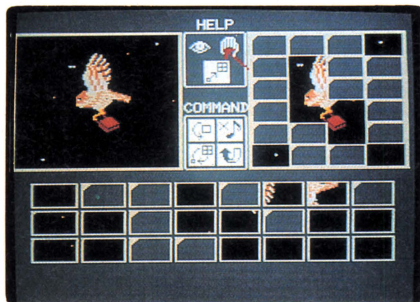


高橋さんの人相を占う

占い・福田有宵先生
(日本占術協会常任理事)

まず、顔がひい出ているのは、頭がいい証拠。それに、少し丸みを帯びていることは、チームワークをうまくまとめることを表わしている。全体に見ると、仕事上のミスが非常に少ない人であることがわかります。アドバイスとしては、ホームランよりヒット。なにがすぐに結果がでるものが吉。

PROGRAM OLYMPIC 3



◆「キネティック・コネクション」です。絵が動いているんですよ。難かしそ。



◆このベシッ君に似た○○さんが、「キネティック」をつくったらしい。

ンスを考えながら山の頂上までいけばいいというわけだ。こう書くときごく簡単そうだけど、「はじめは教育ソフトとして開発しました」というくらいでどの食べ物にどんな栄養があるかなんていう知識を持ってないと、とてもじゃないけどクリアできないようになっているんだぞ。

栄養のバランスを教えるために、こんなに面白いゲームつくっちゃうなんて、すごくソニーらしいね。

ーションしてるってこと。ということは、その完成図を頭に浮かべつつ作業することができないんだぞ。これはムツカシイ。でも面白い。すごーくムツカシイ。でもスゴク面白いのだ。

「キネティック・コネクション」の次に発売される予定なのが「ガルフォース」。そう、ちょっと前から公開されてるアニメ「ガルフォース」のゲームだ。まだ、詳しいことはわからないけど、相当凄いシューティングゲームになりそうだ。MSXユーザーは楽しみにしてくれ。

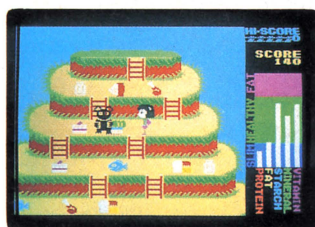
こんなにオモシロいゲームソフトもらっちゃっていいんですか〜!?

プログラムオリンピック初出場のソニーの参加プログラムは「フニクリ・フニクラ」という健康山登りゲームだ。ま、ソニーですから、機種は当然MSX(!) 32K以上必要でごめんね、なのだ。

主人公はリュックを背負った可愛い女のコ。眼の前の山にはケーキやら牛乳やらがゴロゴロ落ちこちているという設定。で、要は女のコの栄養のバラ



◆楠本さんがつくった「コー・スライス」。熱くなるぜ!!



◆山の頂上についたときに健康だとこんな場面が見られる。



◆「フニクリ・フニクラ」をつくった楠本さん。美大出身だけにグラフィックセンスも抜群なのだ。

『フニクリ・フニクラ』のプログラムリストは、LISTLOG 325ページに掲載しました。

年 表

19昔1年	ロードランナーがいったい売れた。ただし、担当者は発売以後2カ月の間入院
19昔2年	パンゲリングベイとコスモエクスプローラー発売。何故か同時発売したかった
19昔3年	ミステリー・ザ・パーティー発売。何と宴会用に開発。地方ゴールデン街を中心に爆発的ヒットを飛ばす。地方巡業を経て現在に至る
19昔4年	ペイロード発売。ちょうどこの頃から、バグが裏ワザのように思えてくる(うーん、これからはバグをとらないほうがいいな、と思う)
19昔5年	グラフィックマスターロボというお絵描きソフト発売。担当Kの処女作で、MSXの色バネに真正面から挑んだ自作。だから買ってねっ!
19昔6年	ミッドナイトブラザーズ発売。これを機会に、担当のMは海外へ飛ばされる(昨日、1時帰国したが、みやげだけおいて再び飛んだ)
1986年	魔法使いウィズ発売。今までたまっていたもんを穴という穴から全部出した感じでよー売れてます。どーもありがとうございます
1986年	コースターレース発売。APSソフト最新ゲーム! 超ド迫力3Dジェットコースター+レースゲームの威力を見よ! 大好評発売中